

## 2024\_1103「一週間で進んだ鷹繫山の紅葉（写真）」日々の理科 3741号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

浅間高原では、ここ一週間の朝晩の低温と降雨によって、木々の色づきが一気に進みました。ちょうど一週間前に、北軽井沢のグランビュー展望塔から高原を俯瞰し、すぐ西側の「鷹繫山(たかつなぎやま/ようけいざん)」を撮影しました。その後どのぐらい紅葉が進んだのか、一週間後のほぼ同じ時刻にもう一度展望塔に上って、撮影してみました。



その差は歴然でした。わずか一週間で、自然景観はここまで姿を変えると驚きました。しかし、自然景観が最も出来るに姿を変えるのは「降雪」です。降雪はわずか30分で風景を一変させてしまいます。このあたりの初雪は例年11月下旬から12月上旬、積雪は12月下旬か1月上旬です。その頃、また同じ風景を撮影したいと思っています。

2024年11月上旬

北軽井沢

